

HEC 理論を職場に広げていくチャレンジ：  
一歩を踏み出すプロセスとしての今  
青梅市立総合病院：藤枝文絵、鎌田桃子 飯尾友華子

私たちは、青梅市立総合病院に、「青梅ニューマン理論・実践学習会」を立ち上げるに当たって、【願い】として、当院のナースが問題解決思考から脱却し、全体性で患者をとらえ、全体性で見方で看護を語れるようになるということを掲げました。この願いの実現に向けて、第1回の学習会を12月26日に予定し、担当の一人、藤枝が所属している病棟の看護の変革にチャレンジしました。コアメンバーは、副師長、主任、そして藤枝です。

この病棟での学習会の目的は、「問題解決思考の看護を手放し、看護ケアの質に変化を起こす」であり、その内容は、①病棟スタッフが全体性を見方を理解する、②全体性を見方を通して、自分の看護ケアのパターンに気づく、③看護の意識が向上し、看護ケアを楽しめる、です。

具体的方法としては、毎月1回、30分程度で対話の時間を持ち、内容は、ナースらがケアに困っているケースを出し合い、「自分にとって、その患者はどう見えるのか」を語り合い、患者の見方・捉え方について対話をする計画で、17日に病棟会でインフォメーションしました。

初期の努力や工夫と、第1回終了後の成果と、継続させるために今後必要な工夫や努力を中心に発表します。